

呼吸機能の 診かたと

リハビリテーション (胸部聴診を含む)

2025年度
オンラインセミナー9

待望の呼吸器
セミナーです

講師 神津 玲先生 (長崎大学 教授)

呼吸機能とコミュニケーションや食べることは、密接な関係にあります。呼吸機能が低下している方は発語に制限を受けます。また、食べることについては、呼吸機能の低下が嚥下時無呼吸や咳嗽などに影響し、それだけでうまく食べられないということが多くあります。日々の臨床においては、呼吸機能の低下をきたす様々な疾患や病態を理解し、呼吸機能を把握しながら関わっていくことが求められます。そして、呼吸機能を高める方法や肺炎などの呼吸器合併症を回避する方法を知っておくことは、食やコミュニケーションに関わる者の責務の一つかもしれません。本セミナーでは、呼吸リハビリテーションの第一人者の先生をお迎えし、基礎から評価・リハビリテーションまで最低限理解しておくべきポイントについて学びます。

第1回 呼吸の基礎

12/05
(金)

呼吸機能へのアプローチをするには、まず呼吸の基礎を知っておくことが必要です。構造や機能を含めて、知っておくべき知識を学びます。

第2回 呼吸機能の診かた

12/11
(木)

呼吸機能の評価には、さまざまな方法があります。食やコミュニケーションの支援に役立つ方法を中心に解説いただき、疾患や病態を含め呼吸を総合的に診る力を得ることを目標に学びます。

第3回 胸部聴診法の実際

12/19
(金)

呼吸状態の把握に欠かせない胸部聴診について、手順や部位、正常音、異常音等の正確な把握を目指します。初めて系統的に学ぶ方、頸部聴診をもっと知りたい方の受講をお待ちしています。

第4回 呼吸機能を高める リハビリテーション

12/26
(金)

呼吸機能を高める方法やリハビリテーションについて、理論と実践を学びます。リハビリテーション手技も含め、できるだけ具体的に解説いただきます。

【開催時間】 19:00~20:15

【参加費】 1講座につき 当研究所会員 1,000円 非会員3,000円

【申込方法】 右記のQRコードからお申込みください。

*詳しくはホームページをご覧ください。

(HP) <https://fc-science.or.jp>



一般社団法人 食とコミュニケーション研究所